

### “ビーチクリーンアップin城南島2007”

城南島海浜公園管理事務所 (TEL3799-6403)

「きれいな砂浜をこどもたちに」をキャッチコピーに、今年も179名の参加をいただき10月13日(土)に行われました。当日は天候にも恵まれ、地元である城南島連合会をはじめ東京都、協賛企

業などに参加して頂きました。開会式では連合会会長より挨拶を頂き、清掃活動を開始しました。

数日前に関東に上陸した台風9号の影響もあり、砂浜には葎や流木はもちろん、ビールケースやテレビなど通常はみられない大型のごみも多数集まりました。集まった、ゴミは燃えるゴミ649.1kg、燃えないゴミ209.1kgでした。今後も継続していく予定ですので、ご協力をお願い致します。



(参加者全員で記念撮影)

## 東京港野鳥公園行事カレンダー

東京港野鳥公園管理事務所 (TEL3799-5031)

開催日	行事名	申込方法・締切り	内容
<b>★定例行事</b>			
毎週日曜日	・ショートプログラム		10~40分位のスライドショーや観察会です。内容は、季節やその日の様子にあわせたものを行います。
毎月第2日曜	・潮入りぐるっと観察会	当日受付 (12:45~)	どなたでも参加できる初心者向け自然観察会です。普段は入れない保護区の動植物をわかりやすく解説します。
<b>★各月の行事</b>			
12月8日(土)	★昼下がり観察会	当日受付 (12:30~)	・レンジャーと一緒にこの時期見られるものをさがしてみましよう!
1月1日(土)	★1月1日は開園します。	開園時間 (9:00~16:30)	
1月27日(日)	★昼下がり観察会	当日受付 (12:30~)	
2月24日(土)	★昼下がり観察会	当日受付 (12:30~)	
3月23日(日)	★昼下がり観察会	当日受付 (12:30~)	

\*詳しくは、上記管理事務所にお問合せ下さい。

**野鳥公園 収穫祭**

**12月16日(日) 11:00-15:00**  
(餅がなくなり次第終了)

行事「田んぼクラブ」参加者の皆さんと育てたもち米でお餅つきをします。つきたてのお餅をぜひ食べに来てください。  
(公園で作られた野菜や竹炭などが当たるおたのしみ抽選会もあるよ!)

### 編集後記

城南島タイムズは、読者の声の欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

(財)東京港埠頭公社・城南島連合会新聞委員会

※この用紙は再生紙を使用しています。

# 城南島タイムズ

城南島連合会

発行元  
新聞委員会

〒143-0002 東京都大田区城南島2-3-8  
電話 (03)3790-8601

2007年(平成19年)

**12/15** (第29号)

## 城南島周辺で動いている公共の事業

### 「建設発生土城南島基地の閉鎖ご挨拶」と「埠頭公社の民営化」

財団法人東京港埠頭公社建設発生土管理事務所 (TEL3529-0281)

#### ■建設発生土城南島基地の閉鎖ご挨拶

前号(第28号)で城南島基地の移転を報告させて頂きましたが、移転後は、ストックしてあった建設発生土の積出し作業のみを行ってききました。

しかし、基地の開所式も11月9日に行われ、また積出し作業も11月21日に終了しましたので、城南島タイムズ第29号が発行されるころには撤去・解体工事に着手しています。

この基地からは、古くは昭和56年度から平成5年度の13年間は、羽田空港の沖合展開事業の埋立用材として約3000万m<sup>3</sup>を積出し、また平成6年度から今日までの13年間は、広域利用発生土処理事業として地方港湾の埋立用材として約740万m<sup>3</sup>の計3740万m<sup>3</sup>を積出してきました。

都内から発生する建設発生土の“不法投棄防止”と“資源の有効利用”という観点からみますと、この基地の26年間に果たした役割は計り知れないものがあります。基地の開所という寂しさはありますが、建設発生土処理事業とその役割は、引続き新基地(中央防波堤内側)で継続されています。

### 東京港臨海道路第Ⅱ期事業

東京都東京港建設事務所 沖合理立整備課 (TEL 5500-2484)

東京港臨海道路は、東京湾岸道路のさらに南側を通るルートとして大田区城南島と江東区若洲を結び、物流機能の向上、周辺道路混雑の緩和及び交通の利便性の向上を図るために整備を進めています。

全整備長約8.0kmのうち、沈埋トンネルを含む西側の約3.4kmは、第Ⅰ期事業として、ご承知のとおり平成14年4月に供用を開始いたしました。

残りの東側約4.6kmの区間が第Ⅱ期事業で、現在、平成22年度末の完成を目標に鋭意施工中です。

第Ⅱ期事業の施工区間は、中央防波堤外側埋立地その1(第1工区)から中央防波堤外側埋立地分場(第4工区)を経て、東京港東航路(第三航路)をトラス形橋梁で渡り、若洲側(第8工区)に至るものです。

第Ⅱ期事業は、国土交通省の直轄事業ですが、東京都は、海面に廃棄物処分場を建設してきたこと、その廃棄物地盤に関する施工のノウハウを持っていることから、東京港東航路(第三航路)横断部(第5~7工区)を除く区間を受託施工しています。

基地の開所にあたりまして、城南島連合会様と、3年周という短い間ではありましたが、新聞委員会の委員の皆様には大変お世話になりましたことを心から御礼申し上げます。

#### ■埠頭公社の民営化

東京港で扱われる外貨貨物の93%はコンテナ貨物で、そのうち約80%(東京港の70%)が公社が管理・運営している大井・青海コンテナ埠頭で扱われています。しかし、近年アジア諸港(シンガポール、釜山、上海等)の躍進で、日本港湾の相対的地位の低下が指摘され、東京港においては首都圏の生活や産業経済への影響が危惧されています。首都圏の生活、産業経済を恒常的に支えていくためには、東京港の物流効率化を促進し、国際競争力の強化と利用者のサービス向上を図ることが必要です。このためには、東京港の外貨コンテナ貨物の約70%を扱うコンテナターミナルを管理・運営する埠頭公社の主力事業である外貨埠頭事業の改革が不可欠です。このため、東京都は埠頭公社を「民営化」することを決定しました。

公社では、民営化に向けて①より柔軟な対応ができる体制作り、②企業性が発揮できる効率的な経営、③東京港の物流効率を促進し、国際競争力の強化に全社を挙げて取り組んで参ります。

なお、民営化後の受け皿となる会社は、「東京港埠頭株式会社」という社名で11月25日に設立されました。

平成18年2月よりスタートした東京港臨海大橋(仮称)アプローチ橋梁基礎工事(第4・8工区)は、殆どが廃棄物処分場下の地盤への施工であることから、基礎杭打設に伴うごみや浸出水等による汚染拡散を防ぐために、廃棄物の無い状態で施工できるよう三重管杭で実施しました。現在、基礎杭は打設が終了し、橋台・橋脚の建設を順次進めています。

また、平成18年9月から製作を開始した中央防波堤外側埋立地その1(第1工区)と中央防波堤外側埋立地分場(第3工区)を結ぶ南北水路横断橋(仮称)(第2工区)も、平成19年9月に連結式を行って、現在、最後の仕上げ工事を実施しています。

本事業は、現在、佳境を迎え、コンクリート橋脚が林立し全貌が見え始めました(写真)。今後、平成22年度の完成を目指し事業を着実に進めて参ります。



中央防波堤外側埋立地分場側アプローチ橋梁整備状況(平成19年11月20日撮影)

